

最近の経済情勢について

商工労働部産業政策課

I 世界

月例経済報告〔平成 25 年 5 月（H25.5.20 内閣府）〕

- 世界の景気は、弱い回復が続いているものの、底堅さもみられる。
- 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、次第に底堅さを増すことが期待される。ただし、欧州政府債務危機が引き続き景気の下振れリスクとなっている。また、アメリカにおける財政問題等にも留意する必要がある。

【米 国】 ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前期比年率+2.5% ～

- ・ 景気は緩やかな回復傾向となっている。
- ・ 先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。
- ・ ただし、財政問題への対応による影響等に留意する必要がある。

【欧 州】 ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前期比年率▲0.9% ～

- ・ 景気は一部に下げ止まりの兆しもみられるが、総じて弱い動きとなっている。
- ・ 先行きについては、当面、弱い動きとなるものの、次第に底入れに向かうことが期待される。
- ・ ただし、一部の国々における財政の先行きに対する不安が再燃した場合、金融面への影響等を通じて景気が低迷するリスクがある。
- ・ また、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。

【アジア】**【中 国】** ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前年同期比+7.7% ～

- ・ 景気の拡大テンポは依然緩やかなものとなっている。
- ・ 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと見込まれる。
- ・ ただし、不動産価格や輸出の動向に留意する必要がある。

【インド】 ～ 実質 GDP 2012 年 10-12 月期前年同期比+4.5% ～

- ・ 景気は緩やかに減速している。
- ・ 先行きについては、当面、低めの成長となることが見込まれる。
- ・ また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。

【韓国】 ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前期比年率+3.5% ～

- ・ 景気は足踏み状態となっている。
- ・ 先行きについては、当面、足踏み状態が続くものの、次第に持ち直していくことが期待される。
- ・ また、輸出の動向に留意する必要がある。

【台湾】 ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前期比年率▲3.2% ～

- ・ 景気は足踏み状態となっている。
- ・ 先行きについては、当面、足踏み状態が続くものの、次第に持ち直していくことが期待される。
- ・ また、輸出の動向に留意する必要がある。

【ASEAN地域（インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール）】

- ・ 内需を中心として、総じて持ち直しの動きがみられる。

II 日本 ～ 実質 GDP 2013 年 1-3 月期前期比年率+3.5% ～

月例経済報告〔平成 25 年 5 月 (H25.5.20 内閣府)〕

『景気は、緩やかに持ち直している。』

- ・ 輸出は、持ち直しの兆しがみられる。生産は、緩やかに持ち直している。
- ・ 企業収益は、大企業を中心に改善の動きがみられる。設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・ 企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、このところ改善の動きがみられる。
- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。

先行きについては、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。

III 長野県

1 長野県の金融経済動向 (H25.6.5 日本銀行松本支店)

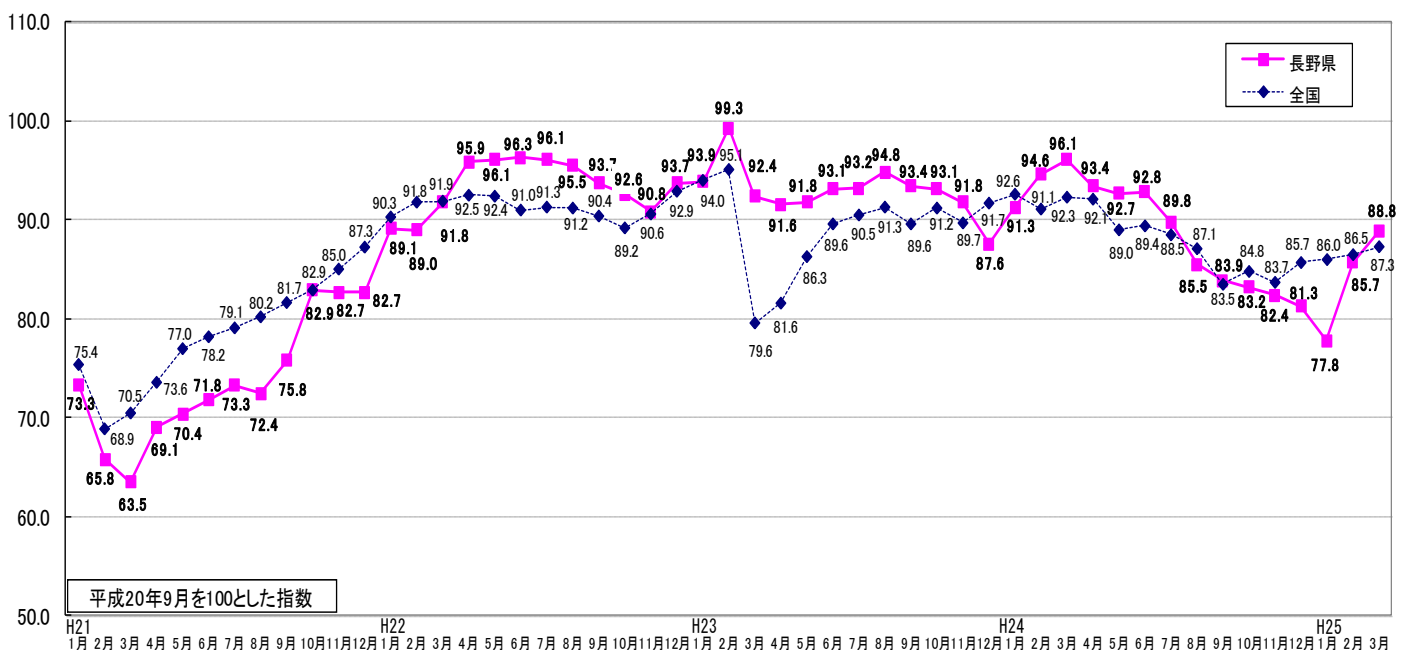
長野県経済は、下げ止まっている。

最終需要の動向をみると、

- ・ 公共投資は低水準ながら、下げ止まっている。
- ・ 住宅投資は持ち直している。
- ・ 設備投資は堅調に推移している。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 輸出は下げ止まっている。

以上のような最終需要のもとで、生産は下げ止まっている。このほか、雇用・所得では、改善の動きに停滞感がみられる。

2 鉱工業生産指数（季節調整済値）の推移



※上記指数は、長野県鉱工業生産指数(長野県企画部)、鉱工業生産指数(経済産業省)を基に産業政策課で算出したものである。